

令和7年度 第11回浜北地域分科会 次第

日時：令和8年2月26日（木）午後1時30分から

場所：浜名区役所 大会議室（なゆた・浜北3階）

1 開 会

2 会長挨拶

3 区長挨拶

4 議 事

(1)協議事項

ア 令和7年度地域力向上事業（助成事業）の提案について【区振興課】

資料1 ※当日配付

5 その他

(1)浜北地域分科会からの要望に対する回答について【スポーツ振興課】

資料2 ※当日配付

(2)浜北消防署からのお知らせ【浜北消防署】**資料3**

(3)浜松市立内野幼稚園の休園について【幼保運営課】**資料4**

(4)代表会等からの報告事項について

ア 令和8年度区政運営方針の基本方針について【区振興課】**資料5**

イ 新たな議員定数に係る報告について **資料6**

(5)次回開催日程等について

日時：令和8年3月26日（木）午後1時30分から

場所：浜名区役所 大会議室（なゆた・浜北3階）

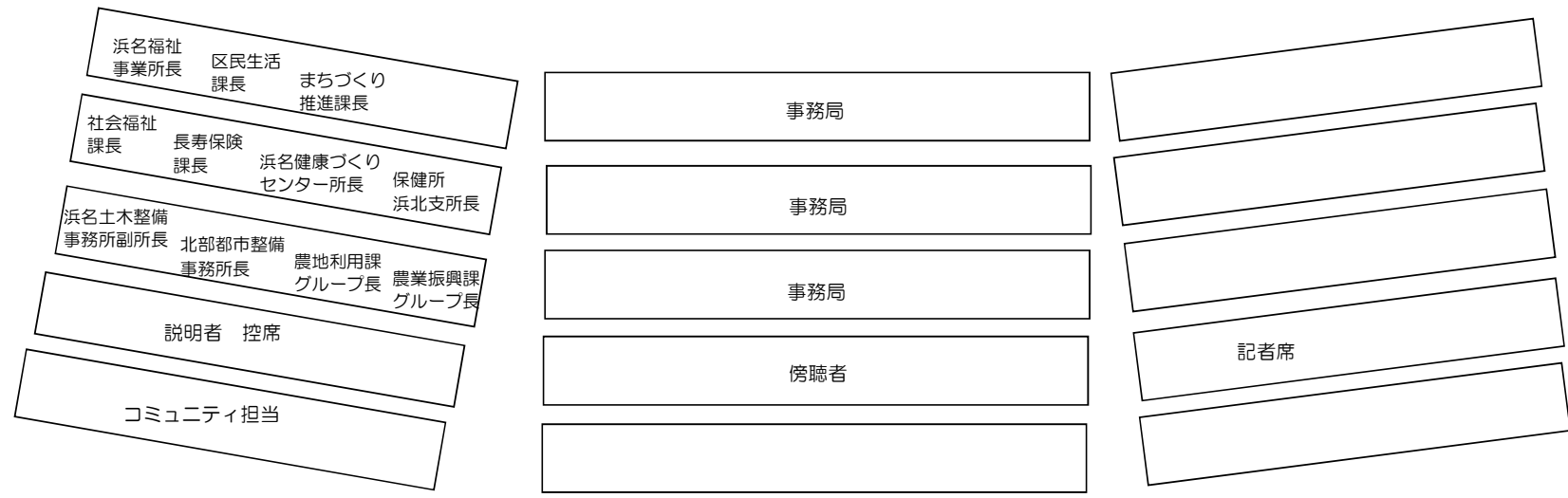
6 閉 会

令和7年度 第11回浜北地域分科会 席次表

日時： 令和8年2月26日（木） 午後1時30分から
 場所： 浜名区役所 大会議室

入口

調整官 課長補佐	区長											野中 敬 村上 雅代	会長 副会長
	副区長												
	説明者												
	説明者	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員		
		岡田 正利	久米 春香	山本 忠雄	戸川 健二	内山 益巳	河村 賢治	鈴木 房子	渡邊 剛一	内藤 和子			
		委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員			
		中川 明彦	河合 豊	野末 将平	室内 久芳	河合 陽子	柴田 武	松島 康浩	井上 直子	富永 泉			



第 9 号様式

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項			
件 名	令和 7 年度浜名区地域力向上事業（助成事業）の提案について			
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>【趣旨】 地域力向上事業実施要綱第 8 条に基づき、浜名区に提案された「市民提案による住みよい地域づくり助成事業（以下、助成事業）」の採択に当たって、浜北地域分科会に意見を求める。</p> <p>浜松市地域力向上事業実施要綱 (実施予定事業の決定)</p> <p>第 8 条 市長は、助成事業の採択に当たっては、条例第 4 条に規定する区協議会（中央区及び浜名区にあつては、同条例第 5 条の 2 に規定する地域分科会）(以下「区協議会等」という。)に意見を求め、その意見を踏まえて実施予定助成事業を決定し、提案団体には選考結果通知書（第 5 号様式）により通知するものとする。</p>			
対象の区協議会	浜名区協議会（浜北地域分科会）			
内 容	<p>令和 7 年度の助成事業二次募集にあたって 1 件の提案があり、浜名区地域力向上事業審査会で審議したものを提出する。</p> <p>提案 1 件 採択 1 件 ※詳細は別紙のとおり</p>			
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)				
担当課	浜名区・区振興課	担当者	政本 有祐	電話 053-585-1143

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

令和7年度地域力向上事業(助成事業)二次募集 提案内容

No.	提案事業名			
	UNIZONE2026開幕戦:eモータースポーツを満喫しよう			
	提案者		提案回数	
	株式会社遠州ハママツモーターズ		1回目(補助上限50%)	
	実施時期	概算事業費	補助上限額	補助金額
	令和8年3月7日(土)~8日(日)	2,360,000円	1,180,000円	550,000円
	主な予算内容			
	歳入		歳出	
	・市補助金	550,000円	・報償費	505,000円
	・その他	1,810,000円	・賃金	0円
			・旅費	259,000円
			・消耗品費	0円
			・印刷製本費	350,000円
			・郵便料	0円
			・保険料	0円
			・広告料	100,000円
			・委託料	1,146,000円
			・使用料及び賃借料	0円
			・原材料費	0円
	事業目的			
	<p>「浜松から金メダリストを」を合言葉に、人材の発掘・育成、eスポーツの振興を目指す。単なるレースゲームではなく、開発したシステムにより交通安全セミナーの実施やヒヤリハットなどを体感できる環境を提供し、日々の交通安全への意識づけをすることで、政令指定都市人口10万人当たりの人身交通事故件数ワースト1脱却を目指す。また、eスポーツ体験は高齢者の認知症予防に繋がり、健康寿命を延ばすことで、医療費削減の一助とする。世代間交流を促進し、安心安全で元気な街づくりに繋げる。</p>			
1	事業内容			
	<p>1つ目として、JAF(日本自動車連盟)が唯一公認するeモータースポーツプロリーグの2年目となる開幕戦を開催。2つ目として、世代間交流を目的としたその他eスポーツ体験コーナーや地域のうまいものなどを集めたフード&マルシェを開設。3つ目として、当社が開発したRCラジコンカーをeオールスポーツ用のハンドルペダルで操作ができるシステムを活用した運転トレーニングや交通安全講習の開催。サンストリート浜北イベント広場に、上記3イベントをそれぞれのストリートへ配置し、誰でも参加可能なイベントとして実施する。</p>			
	区審査結果			
	地域資源の活用度	地域課題の明確性	事業の妥当性	公益性
	3.60	3.80	3.60	3.20
	合計	結果	※合計点15点以上採択	
	17.40	採択	※公益性は平均点3点以上	
	審査意見(抜粋)			
	<p>・交通事故件数削減、健康寿命の延伸による社会保障関係費の削減、世代間交流の促進など、本市の課題に対応した事業内容になっている。 ・eスポーツを通じて、福祉の向上や世代間交流の促進が期待できる。</p>			
	担当課			
	浜名区まちづくり推進課			



第1号様式 (第6条関係)

事業提案書

令和8年2月16日

(あて先) 浜松市長

所在地

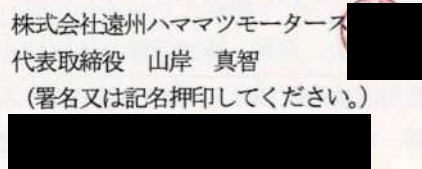


団体の名称 株式会社遠州ハママツモータース

代表者役職・ 代表取締役 山岸 真智

氏 名 (署名又は記名押印してください。)

連絡先 ⅴ



次のとおり、事業を提案します。

事業名	UNIZONE2026 開幕戦 : e モータースポーツを満喫しよう
実施時期	2026年3月7日(土) ~ 2026年3月8日(日)
実施場所	サンストリート浜北 2階 屋外イベント広場
概算事業費	2,360,000 円
参加予定人数	団体スタッフ 20名、参加者 200名
事業の内容 (事業の対象や手法などを具体的に記入)	*内容がわかる詳細資料を別途添付 1つ目として、JAF(日本自動車連盟)が唯一公認するeモータースポーツプロリーグの2年目となる開幕戦を開催。2つ目として、世代間交流を目的としたその他eスポーツ体験コーナーや地域のうまいものなどを集めたフード&マルシェを開設。3つ目として、当社が開発したRCラジコンカーをeオールスポーツ用のハンドルペダルで操作ができるシステムを活用した運転トレーニングや交通安全講習の開催。サンストリート浜北イベント広場に、上記3イベントをそれぞれのストリートへ配置し、誰でも参加可能なイベントとして実施する。
事業の目的	*何のためにその事業を実施したいのか具体的に記入 「浜松から金メダリストを」を合言葉に、人材の発掘・育成、eスポーツの振興を目指す。単なるレースゲームではなく、開発したシステムにより交通安全セミナーの実施やヒヤリハットなどを体感できる環境を提供し、日々の交通安全への意識づけをすることで、政令指定都市人口10万人当たりの人身交通事故件数ワースト1脱却を目指す。また、eスポーツ体験は高齢者の認知症予防に繋がり、健康寿命を延ばすことで、医療費削減の一助とする。世代間交流を促進し、安心安全で元氣な街づくりに繋げる。
地域資源の活用	*区内の地域資源(特産品、自然、文化資産、人材など)を事業にどう活かす予定か。 使用可能な電力条件を満たし、集客が見込める会場として、サンストリート浜北を選出した。また、地元の高・大学生等にスタッフとして参画いただき、地元企業を中心に、地域の特産品や食品などを販売するマルシェに参加いただく。
地域課題	*解決すべき地域課題やその原因・背景は何か。 浜松市は政令指定都市人口10万人当たりの人身交通事故件数ワースト1が続いており、交通安全意識の希薄さが長年の課題となっている。浜北地域においても同様の課題が見られるが、既存の交通安全の取り組みには形式的なものも多く、全体に浸透するのに時間がかかっている。また、地域内でのコミュニティが薄れ、世代間交流も希薄化し、産業の活性化や元氣なまちづくりも課題となっており、交流不足によるものと考え
事業の妥当性	*その事業に取り組むことによって、事業が地域の課題解決にどう結び付くか。 eスポーツという体験型のコンテンツを活用することで、気軽に交通教育を受けられ、交通事故件数削減への効果が期待できる。また、異業種間交流や地域における世代間交流を促進し、スタッフとして参画する地元高・大学生、マルシェに参加する企業、エキシビジョンレースに参加する団体、イベントに集まった個人など、様々な交流を生み出すことで、産業の活性化や元氣なまちづくりに寄与すると考えられる。
公益性	*区民がどのような効果を受けるか。住みよい地域づくりにどのように寄与するか。 交通安全意識の向上や地域ネットワークの強化により、安心して生活できる地域づくりが促進され、地域交流が活発となり、地域全体が元氣になる。また、「プロスポーツ」が身近なコンテンツとして定着することにより、交流人口やプロを目指す人材の受け皿となりうる街として個性的な特徴をアピールできる。
財政支援の妥当性	*行政施策と差別化が図られている点は何か。行政が補助すべき理由は何か。 盛り上がりを見せるeスポーツではあるが、いまだ「たかがゲーム」という見られ方も多い。公共のご支援をいただくことにより、有益なコンテンツとして認知が広がり、地域のキラコンテンツへの成長を目指すことができる。事業を実施することで、異業種間・地域の世代間交流ができ、コミュニケーション形成の一助となるだけでなく、地域が活性化し、元氣になる。また、この地域からeスポーツのプロを目指す人材発掘にも寄与する。

<事業提案にあたっての確認事項>

提案を行う事業について、該当する□にチェックを入れてください。

<p>市税の納付又は納入の状況の確認についての同意（同意する場合は下記に☑を記入）</p> <p>☑ 浜松市地域力向上事業実施要綱第2条の規定により、市において、申請者の市税の納付又は納入状況について確認することに同意します。</p>
<p>☑ 政治、宗教、選挙活動又は営利を目的とする事業ではありません。</p>
<p>暴力団排除に関する誓約（誓約及び承諾する場合は下記に☑を記入）</p> <p>☑ 浜松市市民提案による住みよい地域づくり助成事業費補助金の交付申請にあたり、下記事項について誓約し、承諾します。</p> <p>(1) 次に掲げる者のいずれにも該当しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暴力団（浜松市暴力団排除条例（平成24年浜松市条例第81号。以下「条例」という。）第2条第1号に規定する暴力団をいう。） ・暴力団員等（条例第2条第4号に規定する暴力団員等をいう。以下同じ。） ・暴力団員等と密接な関係を有する者 ・上記3点に掲げる者のいずれかが役員等（無限責任社員、取締役、執行役若しくは監査役又はこれらに準じるべきもの、支配人及び清算人をいう。）となっている法人その他の団体 <p>(2) 浜松市が暴力団排除に必要な場合には、静岡県警察本部又は管轄警察署に照会することを承諾します。</p>
<p>☑ 公序良俗に反する事業ではありません。</p>
<p>■ 浜松市の他の補助金等の支援を受ける見込みは</p> <p>☑ ありません</p> <p>□ あります（補助金等名称： _____)</p>
<p>■ 国、他の地方公共団体又は浜松市の外郭団体から別に補助金等の公的支援を受ける見込みは</p> <p>☑ ありません</p> <p>□ あります（補助金等名称： _____)</p>
<p>☑ 施設整備など後年度に維持管理経費が生じる事業ではありません。</p>
<p>■ 同様の提案を他の区振興課又は行政センターに行って</p> <p>☑ いません</p> <p>□ います</p> <p>（提案を行った区振興課又は行政センター： _____ 区振興課・行政センター 事業名称： _____)</p>
<p>■ 給与所得者を雇用する事業者ですか。</p> <p>☑ はい⇒市民税・県民税・森林環境税特別徴収義務者指定通知書又は市民税・県民税・森林環境税特別徴収未実施理由書（第4号様式）を併せて提出してください。</p> <p>□ いいえ</p>

第2号様式（第6条関係）

収支予算書

1 収入の部

単位：円

区分	予算額	経費内訳(単価・数量)
補助金	550,000 円	地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	2,360,000 円	

2 支出の部

単位：円

区分	補助対象※	予算額	経費内訳(単価・数量)	
報償費	○	505,000 円	MC 20,000 円×1名 選手 40,000 円×1名/30,000 円×1名 アンバサダー 355,000 円×1名 技術協力 60,000 円×1名	
賃金				
旅費	○	259,000 円	出演者交通費 37,700 円×2名 出演者宿泊料 10,200 円×2名 スタッフ宿泊料 10,200 円×4名×4泊	
需用費	印刷製本費	○	350,000 円	ポスター/チラシ2種 350,000 円
役務費	広告料	○	100,000 円	SNS 広告等 100,000 円
委託料	○	1,146,000 円	電気工事 100,000 円 ネットワーク工事 150,000 円 設備レンタル費 896,000 円	
使用料及び賃借料				
原材料費				
計		2,360,000 円		
うち補助対象経費		2,360,000 円		

※補助対象事業に○を記載してください。

第3号様式（第6条関係）

団体の概要書

団体名	株式会社遠州ハママツモータース		
事務所の所在地	[Redacted]		
	電 話	[Redacted]	F A X [Redacted]
	ホームページ	[Redacted]	
代表者役職・氏名	代表取締役 山岸真智		
担当者連絡先	氏 名	[Redacted]	
	電 話	[Redacted]	
	F A X	[Redacted]	
	Eメール	[Redacted]	
設立年月日	2024年11月25日		
会員数	22名		
団体の目的	<p>国内唯一の JAF 公認 e モータースポーツリーグ『UNIZONE（ユニゾーン）』の設立を機に、浜松・遠州地域および静岡県下における e モータースポーツの普及振興・強化育成を目的にチームを創立</p> <p>e モータースポーツを切り口に</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子供たちの夢と希望 ● 大人たちのやりがい/生きがい ● 新たな産業と雇用の創出 <p>を軸に、笑顔と活気のある地域社会の構築を目的としています。</p>		
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ Racing(競技) – UNIZONE、JEGT、EHM Challenge など国内外の e モータースポーツリーグに参戦。 ・ Spread (普及育成) – 地域イベント、『EHM STEAM School』 ・ Safe Driving (交通安全) – 交通事故撲滅、安全運転プログラム ・ Business – 企画、Partner Ship、Member Ship、PR/Stream 		

※団体の詳細がわかる資料を別途添付

静岡県内唯一の プロモーターズポーターチーム

浜松市、静岡県を活動拠点とするプロ EMS チーム

遠州ハママツモーターズ

活動案内

株式会社遠州ハママツモーターズ

代表取締役 / CEO



山岸 真智
(やまがし まこと)

TEL : 090-4831-0096
MAIL : ceo@ehm-motors.com

浜松市ウエルネスアンバサダー (2024年2月～)
スポーツマネジメントスクール (SMS) 修了 (2014)
早稲田大学スポーツMBA Essence修了 (2020)
スポーツマンシップコーチアカデミー 資格認定 (2020)
健康経営アドバイザー (認定番号20002971)

1978年 神奈川県横浜須賀生まれ 浜松市浜名区横須賀在住

【経歴】

- Web広告-アフィリエイト企業：B2Bカスタマサクセス (A8.net)
- 不動産特化Webマーケティング企業：B2Bセールス (いそぶろぐるープ)
- スポーター経営：Jクラブ (横浜FC) 地域アライアンス (横浜圏内 Cafe&Bar PORTO)
- 産業展示会事務局：B2Bマーケティング、B2Cマーケティング、マネージメント (SPORTEC 他)
- プロスポーツCOO/事業部長：経営戦略、B2B/B2Cセールス・マーケティング、HR、広報 (Vリーグ女子 プレス浜松)

- プレス浜松 (Vリーグ所属女子ハレーボールクラブ) 実績 ●

売上 : 2,700万円 (2017年度) → 1億3,600万円 (2023年度) (503%)

顧客数 (B2B) : 15社 (2017年度) → 302社 (2023年度) (20倍)

組織構築 : スタッフ3名 → 24名 (8倍)

部署構築 : 部門無し → 3部門編成

人材育成 : 未経験スタッフ → 個人売上3,500万円

採用 : 大林素子氏の招聘

集客 (B2C) : HG会場平均 89.7% : 1,270名 (8位/17開催女子全26チーム中)



EHMが企業にもたらす7つの価値

1. 認知拡大・ブランド価値向上 (広告宣伝費)
部署：広報・マーケティング
- ブランドが伝わらない／認知コストの低減

2. 商談創出・営業支援 (販促費)
部署：営業企画・販促
- 売り込みを減らし商談導線を作る

3. 地域貢献・社会的評価 (CSR・社会貢献)
部署：総務・CSR

- 形だけのCSRを意味ある活動に変える
4. 採用強化・若手育成 (採用・人材育成)
部署：人事

- 若者に選ばれない／育たない問題を解消
5. 従業員満足度・一体感向上 (福利厚生)
部署：人事・総務
 - 社員の愛着と一体感を作る

6. 新規事業・実証実験 (事業開発・R&D)
部署：経営企画
- 新規事業が会議で終わる問題を解消

7. トップメッセージ (経営者からの伝達)
部署：社長・役員

- 会社の思想／企業トップからのメッセージ

自治体との連携

遠州八幡マツモーターズは 行政と連携して活動する 地域自治体公認プロチーム

浜松市公式連携パートナー

eスポーツチームとして国内史上初
浜松市公式HPに『地元eスポーツチーム』として掲載されています。

国内史上初



静岡県パブリックピッチ採択

静岡県が主催するパブリックピッチにおいて、官民協働の地域課題解決モデルとして正式に採択されました。



浜松市 eスポーツ

静岡県 パブリックピッチ 県庁課題

企業・団体決裁者の皆様へ

**自治体と連携し公的な場で活動しているため、
不透明な運営や誇張表現ができない立場です。**

企業・団体様連携においても

**「説明しやすく・安全な」パートナーとして、
透明性の高い事業運営と確実な成果を
お約束いたします。**

地域イベント開催実績（他多数）

浜松市ギャラリー ソラモ（JR浜松駅前広場） **SALA**

● 2月24日 UNIZONE 2025開幕 パブリックビューイング（来場約1,500名）



ヤマハ発動機株式会社 様 **YAMAHA**

● 7月5日 YamahaDAY オープンハウス2025（来場約2,000名）



しずおかフィナンシャルグループ 様 **しずおかフィナンシャルグループ**

● 7月24~26日 『TECH BEAT Shizuoka2025』 WONDER VISION様コラボ



浜松科学館みらいーら 様 **浜松科学館**

● 8月8日~10日 『TOUCH!eモーターズポーツ』

遠州八幡マツモーターズ×浜松科学館（来場4,200名）



遠鉄百貨店 様 **遠鉄百貨店**

● 8月23日 eモーターズ体験会&トークショー



地域イベント開催 実績

2025年

イベント来場者数： **34,580名**

eモータースポーツ体験者： **1,380名**

No	日程	イベント名	来場者数	体験者数
1	1月18日	社内研修：スポーツマツモーター研修+トップアスリート研修@遠鉄会議室	30名	
2	2月2日	フレシズンチャレンジ @マイシユロス	120名	
3	2月24日	UNIZONE開幕戦PV	1,500名	200名
4	4月19日	倫経マルチ @ワークヒア磐田	900名	120名
5	4月29日	UNIZONE第2ラウンド @マイシユロス	90名	60名
6	5月8日	記者会見：遠州ハママツモーターズ 地域交通安全コメントメント宣言	Xメディア社	
7	6月14日	UNIZONE第3ラウンド @マイシユロス	60名	30名
8	7月5日	YAMAHA DAY @ヤマハ発動機コミュニケーションプラザ	2,000名	100名
9	7月13日	社内研修：交通安全講話（交通安全アンバサダー北氏）	選手スタッフ参加	
10	7月24～26日	TECH BEAT Shizuoka2025 @グランシップ静岡	8,000名	90名
11	8月8～10日	TOUCH！Eモータースポーツ@浜松科学館みらいー5	4,200名	280名
12	8月19日	UNIZONE第4ラウンド @イタヤマチバル	20名	10名
13	8月23日	夏のわくわくキッズフェスタ @遠鉄百貨店	900名	40名
14	9月7日	まちゼミ親子体験会 @静岡銀行浜北支店	30名	20名
15	9月23日	UNIZONEファイナルラウンド @イタヤマチバル	30名	10名
16	10月4～5日	ウエルネスアップ！健康フェス in イオンモール浜松市野	6,200名	60名
17	10月25～26日	十全病院 静岡医療科学専門学校 学園祭「青羽祭」	1,500名	60名
18	11月15～16日	はまきた産業祭 @サンストリート浜北	5,000名	150名
19	12月13～14日	Challenge to インクルーシブ in 浜松 @アクトシティ	4,000名	150名
		合計（数値が取れないものは未集計）	34,580名	1,380名

メディア戦略：マスメディアを活用しての戦略的な認知拡大



2024年11月18日 静岡新聞1面
遠州ハママツモーターズ 設立紹介



2025年5月1日 中日新聞
UNIZONE第2戦結果



2024年11月21日 毎日新聞



2025年1月24日 浜松ケーブルテレビウィンデイ
『週刊だもん DE 浜松』特集



2025年1月10日 静岡新聞「この人」



2025年2月3日 日本経済新聞



2025年4月～6月
静岡新聞コラム『窓辺』
連載

他多数掲載：次ページ

メディア掲載実績 ※2025年9月末現在

- 新聞
 - 2024年11月16日 中日新聞様：瀬田凜選手 磐田市草地市長表敬訪問
 - 2024年11月18日 静岡新聞様 1面：eモータースポーツ浜松にプロチーム誕生
 - 2024年11月21日 毎日新聞様：eモータースポーツ浜松にチーム誕生
 - 2024年12月14日 静岡新聞様：遠州ハママツモーターズ 最高峰リーグ参戦へ
 - 2024年12月14日 読売新聞様：「遠州ハママツ」新リーグへ
 - 2025年1月11日 中日新聞様：スポ団体・産官学が連携（浜松市新組織）
 - 2025年1月22日 静岡新聞様：eスポーツ選手らプロの心構え学ぶ
 - 2025年1月31日 中日新聞様：遠州ハママツモーターズ×名古屋OJA プレシーズンマッチ
 - 2025年2月3日 静岡新聞様：「遠州ハママツモーターズ」体制発表
 - 2025年2月5日 日本経済新聞様：浜松にeモータースポーツチーム「車の街」活性化にアクセル
 - 2025年2月25日 静岡新聞様：プロチーム「遠州ハママツ」浜松でPV ファン見守る
 - 2025年5月1日 中日新聞様：eモータースポーツ 浜松開幕戦 激走 粘って2位
 - 2025年5月9日 静岡新聞様：eモータースポーツプロチーム「遠州ハママツ」交通安全のシンボルに
 - 2025年9月30日 静岡新聞様：娯楽創出や活力向上 幸福度向上へ民間企業提案
 - 中日新聞様：幸福度日本一目指そう 県が催し 民間5社アイデア
- 静岡新聞様コラム『窓辺』連載：2025年4月～6月 全13回
- TV
 - 2024年11月18日 静岡第一テレビ様 『NNNストレイトニュース』：浜松にプロチーム誕生
 - 2025年1月24日～31日 浜松ケーブルテレビウインディ様 『週刊だもんDE浜松』：遠州ハママツモーターズ紹介
 - 2025年9月29日 テレビ静岡様 『ただいまテレビ』：県民の幸福度向上へ
- 地域誌：広報はままつ 2025年8月号 LOVE SPORTS 尾田結都選手特集
- JAFスポーツ：2025年4月号、7月号

地域交通安全コミットメント宣言

遠州ハママツモーターズ 活動宣言

地域交通安全コミットメント宣言

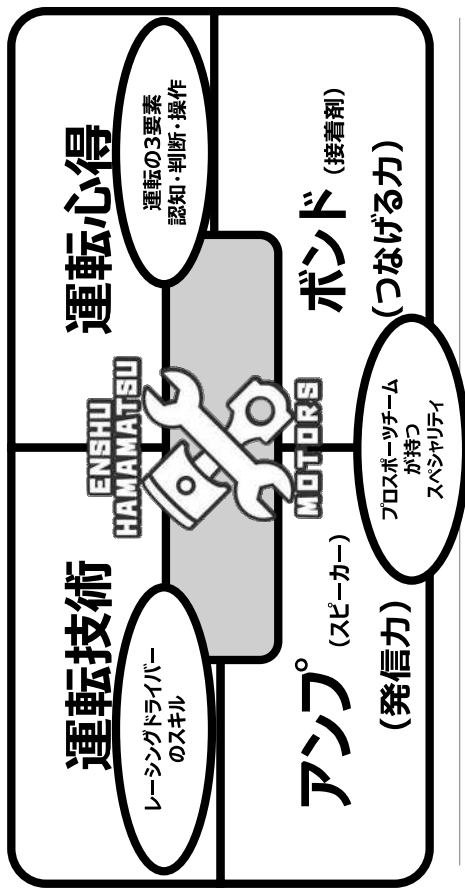
我々遠州ハママツモーターズは、eモータースポーツチームとして活動していく中で地域の皆さまが安全で安心して暮らせる毎日を作り出すために交通事故の撲滅に向けて地域の交通安全に対して全力で取り組むことをここに宣言します。

2025年5月8日、「地域交通安全コミットメント宣言」を発表

浜松をはじめとした遠州地域において、交通安全のシンボルとして今後活動し、交通事故撲滅へ我々の役割を果たしていきます。



2025年5月9日 静岡新聞 紹介



※地域重要課題

浜松市 人口10万あたりの人身事故
16年連続 政令指定都市で最多



いま、遠州浜松でeMS活動をする理由

『自動車産業の街』との高い親和性 【eモータースポーツ文化：自動車 > ゲーム】

eモータースポーツファンは他のeスポーツカテゴリの方々とは異なり、
“ゲーム好き”ではなく、“自動車好き”です。

技術においても、思想・好みにおいても
リアルとバーチャルの互換性が非常に高く、
自動車関連企業に従事する『クルマ好き』が多い
遠州浜松地域との親和性は抜群です！

五輪採用も間近！ 国内外で大きく発展中



2026アジア大会@愛知・名古屋、eモータースポーツが正式採用。

隣県での国際メカイベント開催に、浜松市・静岡県として
更なる連携・スケールのビッグチャンス！！



サウジアラビアでは2024年より
eスポーツ世界大会『Esports World Cup』を毎年開催
2025年の賞金総額は 7000万ドル（約100億円）以上！！



『TOYOTA GAZOO RacingはeMSを活動の柱に！』
メーカーの垣根を超えたリアルモータースポーツの仲間が集う
eMS大会『TGR GT Cup 2024』を開催。
チーム全体で現在はeMS乗車が育成ドライバー採用条件

遠州ハママツモーターズとは

遠州ハママツモーターズとは

UNIZONEの設立を機に、浜松・遠州地域および静岡県におけるeスポーツの普及振興・強化育成を目的にチームを創立

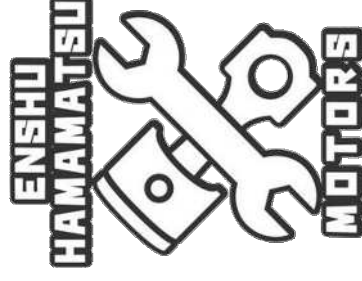
eモータースポーツ/eスポーツを切り口に

- 子供たちの夢と希望
- 大人たちのやりがい/生きがい
- 新たな産業と雇用の創出

を軸に、笑顔と活気のある
地域社会の構築を目的としています。



クラブロゴ『ピストンとスパナ』

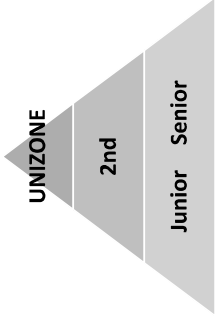


“ピストン=機械：バーチャル” と
“スパナ=道具=人：リアル”
の両原点が交わりあり事で、
エンジンを作り、産業を作り、
そして未来を創る。
ゼロからスタートし、
夢と未来を創り上げていく
そんな遠州ハママツモーターズを
表しています。

事業構成

- Racing
 - ・UNIZONE
 - ・国内大会参戦 (JEGT他)
 - ： 2nd、Junior、Senior
 - ・強化育成 - U-12、U-18

【Racing チーム構成】

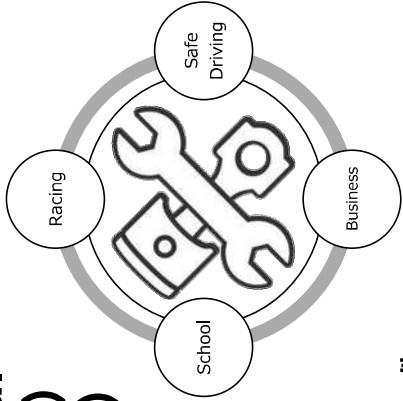


- Spread
 - ・普及 - 地域イベント：キッズ、ファミリー、一般、シニア
 - ・育成 - 『EHM STEAM School』
 - ※ラジコンの組み立て・筐体を使った理系教育スクール
- Safe Driving (交通安全)
 - ・交通事故撲滅活動
 - ・安全運転プログラム / 運転技術講習
 - ・ドライビングチェック (JAFオートテスト etc)

- Business
 - ・企画運営 - Real/Virtual
 - ・Partner Ship (B2B)
 - ・Member Ship (B2C)
 - ・Promotion/Stream

企業概要

【法人名】 株式会社遠州ハママツモーターズ
 【代表】 代表取締役 山岸真智
 【所在地】 静岡県浜松市浜名区横須賀
 【設立】 2024年11月
 【主な参画】 浜松市・磐田市 スポーツプラットフォーム 他



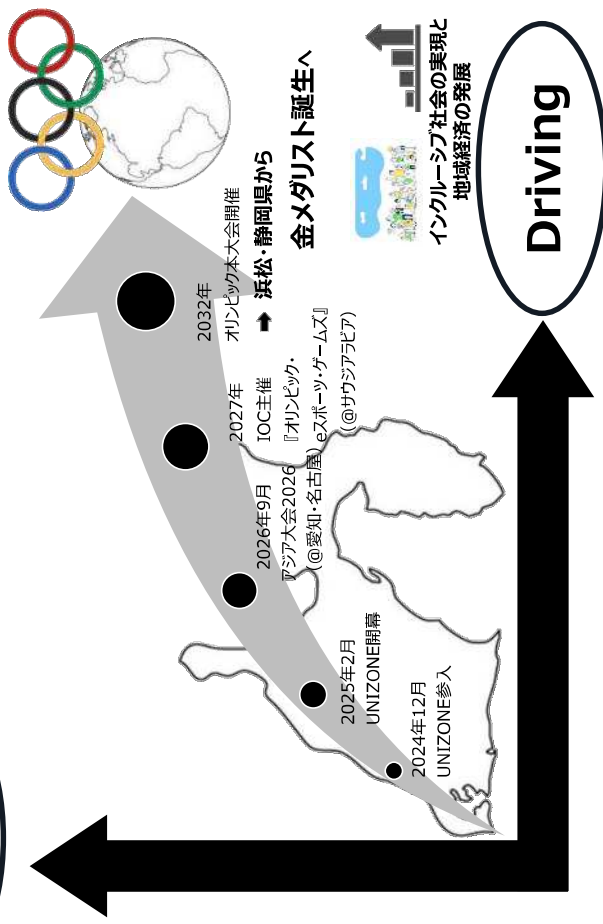
【事業構成全体イメージ】

世界一を目指し 地域課題を解決する

遠州浜松から世界のTOPへ

- 子供たちの夢と希望の創出 -

Racing



金メダリスト誕生へ

『Driving Innovation』 交通安全 & “運転” で 地域活性化

一人たちのやりがい・生きがい / 新たな産業・雇用を創出へ

- 人材育成 : 未来の地域リーダーを担う人材の育成
- 交通安全 : 「安全で安心なまちづくり」に寄与
- 高齢化社会 : シニアドライバー課題と共存する社会
- 『聖地』化 : 新たな地域ブランディングによる魅力創出

認定ドライバーによる構成



Rライセンスドライバー

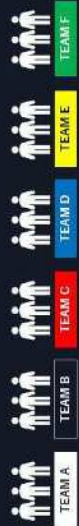
国際Bライセンス以上を保有し、リアルタイムレースで活動するドライバー



eライセンスドライバー

eモータースポーツの主要タイトルにおける規定以上のレーシングライセンスを有するドライバー

UNIZONEの基本大会フォーマット



2026シーズン：6チーム



- ✓6チームすべてが競技に参加
- ✓国内トップクラスの認定ドライバーの参戦
- ✓既存のイベント等との併催で実施予定
- ✓オンライン視聴と会場集客どちらもあり

最高峰のリーグ

2026シーズン予定 (金土日)

2026年								
2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)
	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)
	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)
	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)	公式リーグ (eライセンス)

■賞金総額：600万円 (国内最高額)

UNIZONEでは、2つのタイトルを主軸に採用



FIAが2022年度の国際大会のタイトルとして採用



リアルレーシングドライバーから高い評価

2025年 eモータースポーツリーグ「UNIZONE」始動



2025年、eスポーツとモータースポーツを融合した新たなリーグ「UNIZONE」がスタートします
「社会インフラとしての車にとどまらない、楽しさや魅力あふれる未来のモビリティの実現」を掲げ
現実を超えるエンターテインメントを創り出すことに挑戦していきます

新リーグ発足の背景

一般社団法人 日本自動車連盟 (JAF) では、日本国内における若年層のモータースポーツファンの減少、新型コロナウイルス感染症の影響による、リアルモータースポーツイベントの開催中止等を受けて、持続的なモータースポーツ振興策検討の必要性が高まっています。

2022年8月の「国内eモータースポーツリーグ開催に係るパートナー企業の公募」により、一般社団法人 日本eモータースポーツ機構 (JeMO) が選定されました。



2025年開幕
UNIZONE
- eMotor Sports League -
参戦チーム決定のお知らせ



遠州ハマツモーターズ チームアンバサダー



協阪寿一氏 X



公式HP



Blog



協阪寿一 (わさかじゅいち)

1972年7月29日生
奈良県奈良市出身

レーシングドライバー
TGR Team SARD チーム監督
日本体育大学非常勤講師

19歳でのカートデビュー後、F1のテストドライバー、日本最高峰フォーミュラニックボン、SUPER GT (スーパーGT) の称号を得るなど輝かしい戦績を残しました。

特にSUPERGTでは、2002年、2006年、2009年、3度のシリーズチャンピオンを獲得し、「ミスターGT」の称号を得るなど黄金時代を築きあげられました。
2016年のSUPER GT引退発表後は、監督としてもシリーズタイトル獲得をされており。

『クルマの楽しさやモータースポーツの魅力を伝える』為にレース活動以外にも全国各地のイベントに出演する他、レーシングドライバーの運転技術を様々な方々に伝えることにより、交通事故撲滅を目指した社会貢献活動も精力的に行なっている。

2019年から日本体育大学スポーツマネジメント学部児童スポーツ教育学部で非常勤講師を勤められております。

エンハマ交通安全アンバサダー

北智美 (きた ともみ)

大和ハウス工業(株) 勤務 (一社) ASOBI 理事
株式会社P's 取締役 浜松市市民協働推進委員 他

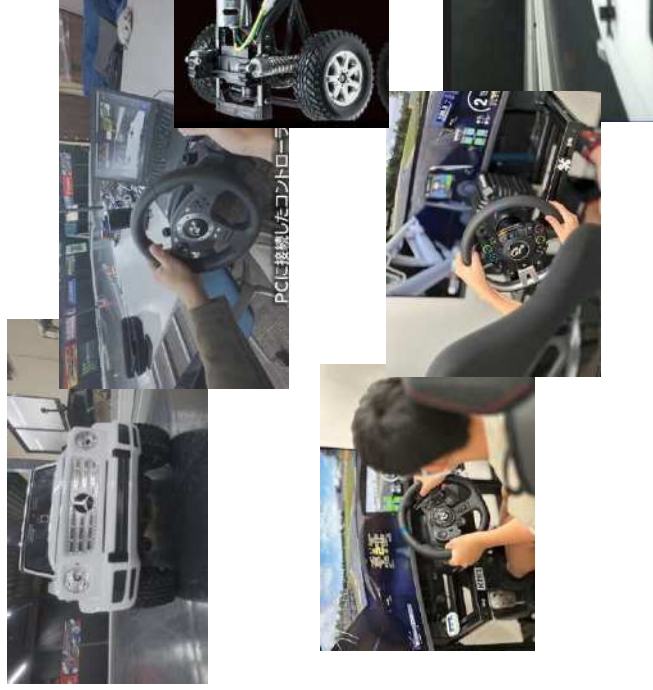
人間ボンド きたとも

浜松市内において、配偶者を交通事故で亡くした過去を持ち、事故撲滅を願い、地域の様々な活動をjする中で遠州ハマツモーターズの活動にJOIN。



『EHM STEAM School』

未来の「走る」を学ぶ、体験型STEAMプログラム



EHM STEAM Schoolとは？

浜松・静岡県で、競技者（レーサー）、技術者（エンジニア）、メカニックとレーシングを同時に学べるスクール
明日のモビリティ人材を育成！

“自分の手で”『つくり』『動かし』『試し』『考える』
自動車の街、ものづくりの街で産みだされる
その全部が ワクワクと成長につながる、新しい学びの形です。

今後の予定イベント

【オンラインイベント】

遠州ハママツモーターズ冠大会
『EHM CHALLENGE』
2025年11月15日（土）第1回開催

第2回2026年初春 開催予定



今後定期的に開催し（2カ月～四半期に1度）各カテゴリーに拡大予定

●アンダー（U-18,U-15,U12）●シニア（O-50,O-60,O-70）

UNIZONE

2026年3月 開幕

Shizuoka Public Pitch

静岡県パブリックピッチイベント



静岡県パブリックピッチ採択：静岡県と共同で県内各地で開催

- 「幸福度日本一」を目指す
- 「行政×民間」協働で地域課題解決へ
- テーマ：『UNIZONE』大会を軸にした静岡県県観光促進事業



9/29 静岡県庁
知事、副知事にプレゼン



9/29 テレシズ
静岡新聞、中日新聞等
各メディアにて紹介

パートナー



小畑裕之税理士事務所



味泉



社会福祉法人育徳会
あゆみの森こども園
AYUMI NO MORI KODOMOEN



森島学園



sala

KARSEE

ウェアサプライヤー

カーシーカシマ株式会社



Mobile

090-4831-0096 ceo@ehm-motors.com

Mail

株式会社遠州ハママツモーターズ
代表取締役CEO 山岸真智

【協賛案内は別紙参照】

- お気軽にお問い合わせください ●

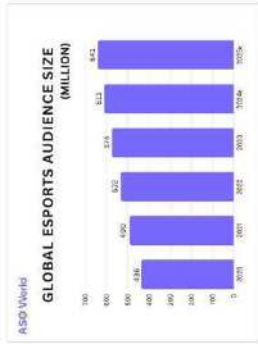
〒434-0036 静岡県浜松市浜名区横須賀1082-9

eスポーツを取り巻く環境：世界

世界のeスポーツの視聴者数

2024年には、推定で世界のeスポーツの視聴者数は6億1100万人で、うちコアユーアが3億200万人、一時的な視聴者が3億800万人となる見込みです。

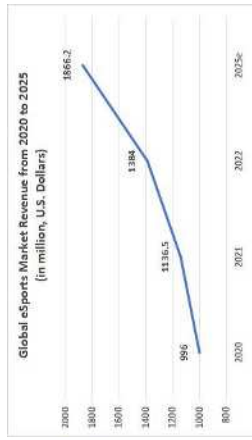
2025年までに、この数字は年間約5%の成長率で成長し、6億4110万人に達すると予想されています。



世界のeスポーツ市場規模と収益

eスポーツにおける世界の収益は2025年までに18.6億ドル（約2,900億円）に達すると予測されています。

主な収益は、メディアライツ、広告、スポンサーシップ、チケットと商品、およびゲームパブリッシャー（販売元）の手数料によるものとなり、広告、スポンサーシップが最大の収入源となり、8億9500万ドル（約1,400億円）、メディアライツ収入は2億7600万ドル（約430億円）、商品およびチケット販売部門は、2億1,060万ドル（約328億円）に達すると予測されています。

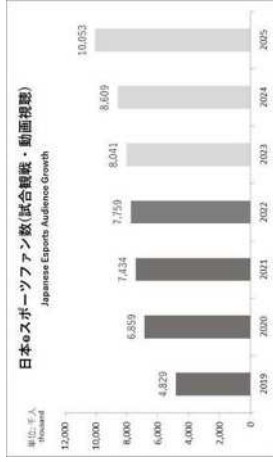


(出典：ASO World 11P)

eスポーツを取り巻く環境：国内

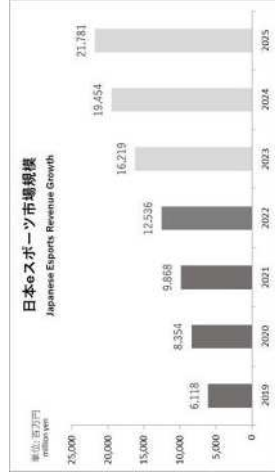
2025年の国内eスポーツファン数は1,000万人超に

2022年の日本eスポーツファン数（試合観戦、動画視聴経験者、地上波番組等の関連放送視聴経験者）は、前年比104%の776万人と推定されます。コロナ禍が明けたことによる、その他エンターテインメントの影響もあり、2023年～2024年にかけては成長の鈍化が予想されますが、2025年には日本のeスポーツファン数が1,000万人を超えるると予測されます。



2025年国内eスポーツ市場は210億円超に

コロナ禍においてもオンライン開催の定着によって堅調に成長してきたeスポーツ市場は、いで拡大しました。この傾向は今後も続き、2025年に向けて市場規模は年平均20%を超える成長率で拡大することが見込まれています。



(出典：日本eスポーツ白書2023/角川アスキー総合研究所)

eモータースポーツを取り巻く環境：国内

eモータースポーツ競技人口は約10万人、代表作の『GT7』は販売本数30万本

近年盛り上がりを見せているeスポーツの中でも、最もリアルに近いといわれているものがeモータースポーツになり、**競技人口は約10万人**で、これまで**20人以上がプロレーサー**になっています。

※参考 競技人口10万人：ラグビー、スカッシュ、高校生の陸上部 etc

(出典：オートバックスHP 『E-MOTORSPORTS EXPERIENCE』より)

『グランツーリスモ7』はドライビングシミュレーターの金字塔である『グランツーリスモ』シリーズのナンバリング第7作目であり、シリーズ25周年記念作品でもあり、2022年3月の発売開始より**国内売上本数30.06万本**を売り上げている。

(出典：『ファミ通.com』より)

現在、eモータースポーツを取り巻く環境は急速に発展しており、日本国内での普及促進に向けた動きが活発化しています。今後の主な動向として、

JAFの取り組み

日本自動車連盟 (JAF) は、eモータースポーツの普及拡大がリアルモータースポーツのファン開拓につながる可能性が高いと認識し、2021年にデジタルモータースポーツ部会 (現・eスポーツ部会) を立ち上げました。JAFは「eモータースポーツ3か年 (2024~2026年) 計画」を発表し、「**トップを光らせ裾野を広げる**」ことによる**eモータースポーツのエコシステム確立**を目指しています。

プロリーグ「UNIZONE (ユニゾーン)」の設立

2023年に一般社団法人日本eモータースポーツ機構 (JeMO) が設立され、JAFとの提携・公認のもと、eモータースポーツの振興と新しいクルマファンの開拓に乗り出しました。その目玉となる取り組みが、eモータースポーツのプロリーグ「**UNIZONE (ユニゾーン)**」です。2025年2月24日に開幕し、初年度は5チームが参戦。2026シーズンからは6チームへ規模拡大。

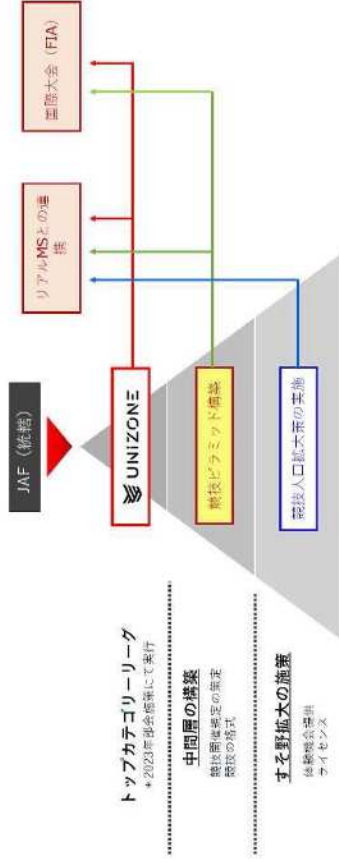
今後の展望

eモータースポーツは、**リアルスポーツとのギャップが小さく、実車を運転するような技術で競技**することが可能です。また、モータースポーツの技術革新や環境への貢献についての正しい理解を広めることで、マーケットの可能性が広がると期待されています。

²¹
(出典：REAL SPORTS HPより)

JAFが目指す理想像

2026年までにeモータースポーツの競技ピラミッドが構築され、**トップが光ると同時に裾野が拡大**している状態を目指す



取り組み項目



UNIZONE使用車種

使用車種

2026 シリーズはSF車両（2車種）とGT3車両（10車種）の2規格を使用



車種：ラウンド毎での選定可（2026シーズン）

UNIZONE運営法人概要



JAF公式 eMS国内トップリーグ 『UNIZONE』運営

- 【法人名】 一般社団法人日本eモータースポーツ機構 (JeMO)
- 【代表理事】 出井 宏明 (元 ㈱) リーグデジタル代表取締役)
- 【理事】 糸井 丈之 (糸井ホールディングス株式会社)
片桐 正大 (名古屋王者株式会社)
幅田 智仁 (株式会社オートバックスセブン)
- 【所在地】 〒100-0005
東京都千代田区丸の内3丁目3-1 新東京ビル8F
デロイト・トーマツイノベーションパーク内
- 【設立】 2023年5月
- 【後援メーカー】



AUTOBACKS JEGTとは



『AUTOBACKS JEGT』とは

JEGT (Japan Electronic sports Grand Touring) は、2019年9月に誕生した国内最大級のeモータースポーツ大会。

公式シリーズは【トップリーグ】と【チャレンジリーグ】、【企業対抗戦】の三部門から構成されており、モータースポーツ界で活躍するプロレーシングチームや、プロゲーミングチームを含むさまざまなチームが参加しています。

タイトルは国内売上本数が約30万本のPlayStation®5 / PlayStation®4用ソフトウエア『グランツーリスモ7』を使用。

2025シリーズよりトータルカーライフサービスを提供する(株)オートバックスによる主催大会として実施されています。

大会名	2025 AUTOBACKS JEGT Supported by GRAN TURISMO
大会期間	2025年7月～2026年3月 (予定)
開催部門	【トップリーグ】 (10チーム)、【チャレンジリーグ】 (チーム定員なし)、【企業対抗戦】 (チーム上限なし)
使用タイトル	PlayStation®5 / PlayStation®4用ソフトウエア『グランツーリスモ7』 <small>(開発: ソニー・インタラクティブエンタテインメント) © 2025 Sony Interactive Entertainment Inc. Developed by Polyphony Digital Inc.</small>
賞金総額	※「PlayStation」および「Gran Turismo」は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標または商標です 500万円 (グランツーリスモシリーズによる前年大会で唯一の国際賞金制大会)
主催	株式会社オートバックスセブン
企画運営	NGM株式会社

遠州ハママツモーターズ 所属ドライバー

UNIZONE 2026シーズン

現在チーム編成中



遠州ハママツモーターズ 2nd

『AUTOBACKS JEGT』参戦

(PS5 グランツーリスモ7利用 国内最大級規模のリーグ)



遠州ハママツモーターズ2nd メンバー

- 丸山 勇人 (まるやま はやと) : 三重県在住
- 海老塚 由記 (えびづか よしのり) : 神奈川県在住
- 深本 和磨 (ふかもと かずま) : 岡山県在住
- 菊地 晃輔 (きくち こうすけ) : 宮城県在住

株式会社遠州ハママツモーターズ名簿

2026/1/1 現在

NO.	部門	職名	氏名	備考
1		代表取締役CEO	山岸真智	
2		チームアンバサダー	脇阪寿一	
3	Buisiness	ビジネスダイレクター	山本雄司	
4	Racing	レーシングダイレクター	田中健太	
5	Buisiness	広報	岸こずえ	
6	Buisiness	広報クリエイティブ	大森慎司	
7	Racing	レースエンジニア	中春正太	
8	Racing	ドライバー	小出峻	
9	Racing	ドライバー	百瀬翔	
10	Racing	ドライバー	武藤雅奈	
11	Buisiness	MC	近藤未波	
12	Buisiness	MC	天玲美音	
13	Buisiness	スタッフ	藤野俊輔	
14	Buisiness	スタッフ	中務仁	
15	Buisiness	スタッフ	高木誠司	静岡大学自動車部SUAC
16	Buisiness	スタッフ	長谷川縁	静岡大学自動車部SUAC
17	Buisiness	スタッフ	中野惺太	静岡大学自動車部SUAC
18	Buisiness	スタッフ	大場隆輔	静岡大学自動車部SUAC
19	Buisiness	スタッフ	新田雄大	静岡大学自動車部SUAC
20	Buisiness	スタッフ	長田陸翔	静岡大学自動車部SUAC
21	Buisiness	スタッフ	鈴木茉奈	静岡大学自動車部SUAC
22	Buisiness	スタッフ	伊藤晃大	静岡大学自動車部SUAC

遠州ハママツモータースの
最新情報を今すぐチェック!



遠州ハママツモータース eモータースポーツチーム

JAF(日本自動車連盟)が唯一公認するeスポーツリーグ



e-Motorsport LEAGUE
2026 HAMAMATSU
STAGE

開幕戦 **3.07** (土) 11:00~

会場 ▶ サンストリート浜北 2F 屋外イベント広場

Presented by



株式会社 パナホーム静岡

伊藤建設株式会社

3.08 (日)

第三回 子どものための
体験型スポーツイベント

はまたた
スポーツ
フェス

eスポーツ体験/BMX/クリケット and more...

地元企業・団体対抗

eモータースポーツ大会も開催

主催

サンストリート浜北

共催

遠州ハママツモータース

子供清走団

第2戦	5.16	(土)	13:00~
第3戦	6.27	(土)	13:00~
第4戦	8.29	(土)	13:00~
最終戦	10.31	(土)	13:00~

※日程・開始時刻・会場は変更する場合がございます

eモータースポーツとは

レーシングシミュレーターを利用したモータースポーツの電子版。オフラインやインターネットを介して世界中のプレイヤーと対戦可能で、年齢・性別・国境・障がいの有無など問わず、誰でも参加できるインクルーシブなスポーツカテゴリー。



株式会社 パナホーム静岡

伊藤建設株式会社



森島学園



あゆみの森こども園

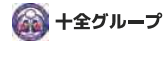


細谷精機株式会社

小畑裕之税理士事務所



あさひの井口



KARSEE



遠州ハママツモータース
eモータースポーツチーム

JAF(日本自動車連盟)が唯一公認するeスポーツリーグ



UNIZONE

e-Motorsport LEAGUE
2026 HAMAMATSU
STAGE

Presented by



株式会社 パナホーム静岡

IG 伊藤建設株式会社

eスポーツ やらまいか



飲食エリア

地元密着
パートナー

場所 ▶ サンストリート浜北2F
屋外イベント広場

時間 ▶ 11:00~19:00

3.08(日)

第三回 子どもの為の
体験型スポーツイベント

はまきた スポーツ フェス

eスポーツ体験/BMX/クリケット and more...
地元企業・団体対抗
eモータースポーツ大会も開催
主催
サンストリート浜北
共催
遠州ハママツモータース
子供清走団

※画像はイメージです。

イベントの最新情報は
こちらから



お問い合わせは
こちらから



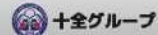
当日の様子は
こちらから



主催 ▶ 遠州ハママツモータース

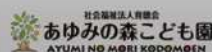
共催 ▶ サンストリート浜北

後援(予定) ▶ 静岡県/静岡県教育委員会/浜松市/浜松市教育委員会/浜松商工会議所/浜北商工会/浜北観光協会/浜松・浜名湖ツーリズムビューロー 他



株式会社 パナホーム静岡

IG 伊藤建設株式会社



小畑裕之税理士事務所

うさぎの井口

KARSEE



浜市ス第 193 号

令和 8 年 2 月 26 日

浜名区協議会浜北地域分科会

会長 野中 敬 様

浜松市長 中野 祐介

(スポーツ振興課)



浜松市浜北温水プールの再建と情報提供について (回答)

1 要望内容

(1) 浜北温水プールの再建について

利用度の高い施設であり、速やかに再建するよう要望する。なお、再建に当たっては、数字に表れている地元ニーズを十分踏まえた施設とすること。

(2) 区協議会地域分科会への情報提供について

緊急な事態であったことを踏まえても代替施設への案内、経緯説明が不十分である。今後は、丁寧な地元説明と区協議会地域分科会への逐次、経過報告を徹底すること。

2 回答

浜北温水プールの閉館後、学校プールの今後の在り方について検討が進められてきました。その検討の進捗において、浜北地域で小中学校水泳授業の受け入れ先となる屋内プール施設の不足が見込まれることから、この新たな需要に対応するため、既存の施設がある平口スポーツ施設内に屋内プール施設の再建を決定いたしました。

なお、浜北温水プール閉館前後における周辺の公設屋内プール施設の利用実績から、浜北温水プール、北部水泳場及び天竜 B&G 海洋センターの 3 施設には利用の関連性があり、この 3 施設の総利用者数は、令和 4 年度の約 25 万人に対し浜北温水プール休館以降の令和 5 年度以降は約 22 万人で推移していることを確認いたしました。引き続き、市民利用ニーズを踏まえ検討を進めてまいります。

屋内プール施設の再建にあたりましては、施設の企画段階から小中学校水泳授業の受け入れを想定し、まずは民間活力の活用を前提に整備手法を検討するため、令和 8 年度は民間事業者に対する市場調査を実施してまいります。

今後におきましては、再建に向けた事業の進捗について適宜情報を発信するため、令和 8 年度の市場調査の結果がまとまった段階で地域分科会への報告を予定しております。

また、既存施設につきましては、同一敷地内にある浜北総合体育館などの利用者の安全確保の観点から、令和 8 年度から令和 9 年度にかけて施設の解体工事を予定しております。

(参考)

令和6年8月29日

浜松市長 中野 祐介 様

浜名区協議会浜北地域分科会

会長 野中 敬



浜松市浜北温水プールの再建と情報提供について（要望）

浜名区協議会浜北地域分科会は、地域の意向を反映させるため、次のように要望する。

1 浜北温水プールの再建について

利用度の高い施設であり、速やかに再建するよう要望する。なお、再建に当たっては、数字に表れている地元ニーズを十分踏まえた施設とすること。

なお、これまでの浜北温水プールの使用状況について、分科会委員からの質問に対する回答として、これまで毎年10万人ほどに利用されており、コロナ禍や施設の不備が出る前には12万人に達したこともあったとのことである。市内同種のプールと比較しても利用者は多いほうであり、それだけ地域住民の利用が定着していたものと思われる。

また、同じエリアにある総合体育館やサッカー場と比べても利用は劣るものではなく、常に賑わっていた状況にあったとの説明である。

2 区協議会地域分科会への情報提供について

緊急な事態であったことを踏まえても代替施設への案内、経緯説明が不十分である。

今後は、丁寧な地元説明と区協議会地域分科会への逐次、経過報告を徹底すること。

(経緯は以下のとおり)

- ・平口の浜北温水プールについては、昨年度からこのまま使用するには危険ということで使用禁止の報告がなされ、この5月には調査結果として既存のプールは閉館との報告がなされた。
 - ・その後、具体的な今後の方針の説明がないまま、閉館情報のみが公表されてしまい、また、代替施設等について情報が十分に周知されているとはいいがたく、地元などは混乱をきたしている。
 - ・市からはこれまで、「使用休止となる事実」「調査結果の報告」のみがあっただけであり、今後の方向性を含め具体的なものはなく、当時の区協議会や浜北地域分科会に対し、意見を求められたことはなかった。
- また、今年度における代替措置の説明もなかったため、流れからすれば当然に説明されるところだと思っていたところである。

(参考) 2月13日 浜名区代表会資料

令和8年2月5日

市民文教委員会

市民部スポーツ振興課

浜北温水プールの今後の方向性について

1 経緯

- ・令和5年度の劣化調査の結果、鉄骨構造体部等の劣化が著しいことを確認し、既存施設の利用は困難であると判断したことから、令和6年5月末をもって閉館とした。
- ・その後の学校プールの今後の在り方検討の進捗において、浜名区浜北地域で小中学校水泳授業の受け入れ先となる屋内プール施設の不足が見込まれている。
- ・既存施設については、同一敷地内の浜北総合体育館など利用者の安全確保のため、施設の解体に向けた業務を進めている。

2 今後の方向性

既存の施設がある平ロスポーツ施設内に屋内プール施設を再建する。

- ・施設の企画段階から小中学校水泳授業の受け入れを想定
- ・民間活力の活用を前提に整備手法等を検討
- ・令和8年度は民間事業者に対するサウンディング型市場調査を実施

3 浜北温水プール閉館前後における周辺施設の利用実績

(1) 年間利用者数

施設	令和元年	令和4年	令和5年	令和6年
浜北温水	119,943	99,990	26,018	閉館
北部水泳場	130,766	98,566	135,494	151,737
天竜 B&G	休館	53,527	63,617	70,421
合計	250,709	252,083	225,129	222,158

(2) 繁忙期(7月～8月)の利用者数

施設	令和元年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
浜北温水	32,245	22,685	休館	閉館	閉館
北部水泳場	58,246	41,995	64,204	62,512	64,141
天竜 B&G	休館	12,297	16,286	16,902	17,260
合計	90,491	76,977	80,490	79,414	81,401

4 既存施設の解体について

- ・令和7年度に解体工事設計に着手済み
- ・令和8年度から令和9年度にかけて既存施設の解体工事を実施予定

マイナ救急について

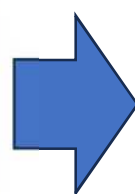
浜松市消防局では、皆さまをより円滑に医療機関へ搬送するため、マイナ保険証により過去の受診歴や薬剤情報などを把握して救急業務に活用※します。

※原則、傷病者からの同意を取得して情報を把握します。

マイナ保険証を活用するメリット



を救急隊へ正確に伝達可能



- ・傷病者の負担軽減
- ・より適切な応急処置
- ・円滑な救急搬送
- ・病院での事前準備



マイナ救急の概要

マイナ救急とは？

(以下の二次元コードから約50秒の説明動画をご覧ください。)



YouTube (二次元コード)



X (二次元コード)

マイナ救急は
暗証番号も
顔認証も
不要だよ

もしもの時に備えて

いつ、救急車を呼ぶことになるか分かりません。
皆さんご自身の命を守るためにも、

マイナ保険証の携行をお願いします。



お問い合わせ

浜松市消防局 警防課 救急企画グループ

TEL:475-7562

※救急隊が取得する個人情報は、救急業務に関する目的に限り利用します。

「映すだけ。」 あなたの行動が 助けになる。

スマホで現場の「今」を伝える

「映像通報 119」

映像通報 119 とは？

- ① 通報後、消防から
映像送信の案内が届きます。
- ② 案内に従って、
スマホのカメラを向けるだけ。
- ③ 映像と位置情報で、
より確実な支援につながります。



詳しくは、こちらへ

浜松市公式HP
『浜松市消防局映像通報システム』
で検索

浜松市消防局 情報指令課
TEL : 053-475-7551
FAX : 050-3537-9053

《活用状況》

- ・令和6年度実績 51 件（救助 36、救急 11、火災 3、その他 1）

《奏功事例》

・「プールで溺れ、意識・呼吸が分からない」という通報内容

- ①プールサイドに倒れている傷病者の状況を映像で確認できた。
- ②映像を見ながら、心臓マッサージの圧迫位置やテンポを案内。
(※消防指令センターから応急手当の手順等の動画を送ることもできます。)
- ③さらに、AEDの手配と装着方法についても案内する。
- ④その後、救急隊の到着まで心肺蘇生法の継続をお願いした。
(※この傷病者は、救急隊到着前に呼吸が回復しました。
さらに、入院治療の後に、社会復帰に繋げることができました。)

《通信料について》

- ・119番通報は無料ですが、映像通報119の利用時には通信料を、通報者様にご負担していただくこととなります。
- ・一般的な契約プランでは、1分間の利用で約2円の通信料がかかります。

《事前の利用登録は必要ですか》

- ・事前の登録は必要ありません。

《どのような携帯電話でも利用可能ですか》

- ・ほとんどのスマートフォンで利用可能ですが、閲覧機能の利用条件により、利用できない可能性もあります。

浜松市立内野幼稚園の休園について（報告）

1 背景

- ・ 少子化や保育需要の高まりなどにより、市立幼稚園の園児数は、近年、大幅に減少している。
- ・ 浜松市立内野幼稚園（以下「内野幼稚園」という。）の園児数は、令和 8 年 1 月末時点で 6 人（年長 3 人、年中 2 人、年少 1 人）である。
- ・ 令和 7 年 4 月 1 日時点で「浜松市立幼稚園・保育園の適正化等に関する方針」（以下「方針」という。）に設定する『統廃合検討開始の目安（4 月 1 日時点の 1 学年（3 歳児）の園児数が 2 年続けて「5 人未満」となったとき）』に該当している。

2 経緯・報告

- ・ 令和 7 年 10 月に令和 8 年度の新入園児募集を行ったところ、最終的な申し込みはなかった。
- ・ 令和 8 年度の園児数は園全体で 3 人の見込みとなり、引き続き方針の統廃合検討開始の目安に該当することから、今後について、在園児保護者と話し合いを重ねた結果、令和 7 年度末をもって他園へ転園する意向が示された。
- ・ 令和 8 年度は園児が不在となることから、休園する。
- ・ 令和 6 年度から在園児保護者や地元自治会長などと今後の園のあり方について意見交換を行っている。

<内野幼稚園位置図>



5 その他(4) 代表会等から報告事項について

第9号様式

ア 令和8年度区政運営方針の基本方針について

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input type="checkbox"/> 協議事項 <input checked="" type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	令和8年度区政運営方針の基本方針について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>区政運営方針は、区民の皆様とともに地域の課題を解決し、市民サービスの向上や暮らしやすい地域づくりを進めるために、区長が区政運営に当たっての基本的な考え方、浜名区で実施する主な取り組みについて、区民の皆様と区役所との共有を図るため、毎年度、策定・公表している。</p> <p>令和7年度以降の区政運営方針の策定にあたっては、令和6年度に代表会及び各地域分科会で意見聴取を行い、令和7年度から令和16年度までの10年間の中長期的な目標である将来像を定めるとともに、その実現に向け、区政運営に当たっての3つの基本方針を定め、令和7年度浜名区区政運営方針を策定している。</p>				
対象の区協議会	浜名区区協議会（浜名区代表会）				
内 容	<p>令和8年度浜名区区政運営方針を策定するにあたり、基本方針の考え方について報告するもの。</p> <p>※詳細は別紙のとおり</p>				
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	<p>今後の予定</p> <p>※詳細は別紙のとおり</p>				
担当課	浜名区 区振興課	担当者	鈴木 雄歩	電話	585-1141

令和8年度区政運営方針の基本方針について

浜名区・区振興課

1 令和8年度浜名区区政運営方針における基本方針の考え方

(1) 背景

令和6年度浜名区代表会及び各地域分科会において、令和7年度から令和16年度までの中長期的な目標である将来像と、その実現に向けた令和7年度の区政運営に当たっての3つの基本方針を定めた。この基本方針は、原則として毎年度定めるものである。

(2) 基本方針の考え方及び理由

ア 基本方針の考え方

令和7年度区政運営方針における基本方針を令和8年度も継続する。

＜令和7年度区政運営方針 基本方針＞

- ①誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりの推進
- ②地域コミュニティの充実と地域間交流の促進
- ③伝統と自然を大切にされた地域の活性化

イ 理由

3つの基本方針は、浜名区の将来像を実現するための方針として、浜名区協議会において検討してきたものである。

策定後1年しか経過していないことや地域を取り巻く環境についても、区政運営における基本方針に影響を与えるような大きな変化がないことから、令和8年度区政運営方針における基本方針としていくもの。

2 策定スケジュール

年月	代表会	地域分科会
令和8年2月	[報告] 令和8年度区政運営方針における基本方針の考え方について ⇒ 令和8年度区政運営方針における基本方針の考え方について報告	[報告] 令和8年度区政運営方針における基本方針の考え方について ⇒ 代表会からの連絡事項として報告
令和8年5月	[報告] 令和8年度区政運営方針について ⇒ 完成した令和8年度区政運営方針を報告	[報告] 令和8年度区政運営方針について ⇒ 代表会からの連絡事項として報告

令和7年度

浜名区政運営方針 体系図

将来像 (期間：令和7～16年度(10年間))	
キヤッチ フレーズ 人と文化と自然と暮らし みんなで育む つながる浜名区	誰もが安心して暮らすよう、安全で快適な生活基盤が整備されている。 ・ 地域や世代の多様性を活かし、支え合い、つながりが実感されている。 ・ 歴史や文化が引き継がれ、活気のあるまちづくりが進んでいる。

基本方針
 (期間：単年度(原則、毎年度策定))

(1) 誰もが安心して快適に暮らせるまちづくりの推進
 安全で快適な生活基盤を整備し、安心して暮らせる地域を目指します。皆さんとの対話を大切にし、地域の課題解決に向けて共に取り組みます。

(2) 地域コミュニティの充実と地域間交流の促進
 絆を育み、互いに支え合える温かいコミュニティを築きます。各地域の特色ある活動や住民の皆さんの創意工夫を全力で支援します。

(3) 伝統と自然を大切にした地域の活性化
 受け継いだ歴史や文化を大切にしつつ、新たな魅力と活力を生み出します。浜名区の素晴らしい資源や魅力を内外に発信し、区の一体感を高めます。

主な事業
 (期間：単年度)

- ・ 地域防災・減災推進事業
- ・ 安全・安心なまちづくり推進事業
- ・ 地域インフラ整備支援事業
- ・ 行政サービス向上事業

- ・ 区民参画推進事業
- ・ 市民協働推進事業
- ・ 地域交流促進事業
- ・ 情報発信強化事業

- ・ 地域文化振興事業
- ・ 地域産業振興事業
- ・ 地域資源活用事業
- ・ 歴史文化継承事業

将来像を実現するため、令和7年度は3つの取り組みを基本方針として掲げます。これまでの伝統を大切にしつつ、地域間の交流を促進し、住民の皆さまが安心して暮らせる浜名区となるよう取り組んでまいります。

令和 8 年 2 月 13 日

浜北区協議会代表会

新たな議員定数に係る報告について

浜松市議会

1 新たな議員定数

(1) 決定内容

次回の浜松市議会議員選挙における議員定数について、中央区及び天竜区をそれぞれ 1 人減員し、中央区 33 人、浜名区 9 人、天竜区 2 人の計 44 人とする。

(2) 決定の理由

①天竜区の定数

『浜松市議会議員定数のあり方調査会報告書』（以下、報告書という。）における「1 票の較差による選挙が無効になるリスクを考慮すると、次回選挙から天竜区の定数に限っては、削減することも選択肢として考えざるをえない」との結論を尊重し、1 票の較差を是正する観点から、天竜区の定数を 1 人減員とする。

②浜名区の定数

令和 17 年（2035 年）の将来推計人口における1 票の較差を 2 倍未満に抑えることを考慮し、現状維持とする。

③中央区の定数

行政区再編時や議員定数の削減方針決定時、また市議会が実施した市民シンポジウム及び市民アンケートにおいて、議員定数の削減を求める意見があったことから、定数は削減することとする。

削減数について、令和 7 年（2025 年）4 月 1 日の住民基本台帳に基づく中央区の配当基数は 35 人であり、中央区を 33 人とすることは実質 2 人減員に相当することから、1 人の減員とする。

(裏面あり)

(3) 議員定数の今後の見直し時期

報告書では、「短期間での見直しは不安定な選挙環境を招く恐れがある」とし、「特段の事情がない限り、一定期間見直さないことを十分考慮すべき」としていることから、令和 21 年（2039 年）の市議会議員選挙後に見直しの協議を行うものとする。

ただし、改選期ごとに特段の事情の有無を確認し、見直しの要否を判断する。

2 今後のスケジュール

令和 7 年度	3 月	議員定数条例の上程・議決（令和 8 年 2 月定例会） ※ 議決後速やかに、新たな議員定数を周知 ・ <u>ホームページ</u> ・ <u>動画配信（ユーチューブ）</u> ・ <u>SNS（X、フェイスブック、LINE 等）</u>
令和 8 年度	4 月～3 月	～ 新たな議員定数を周知する期間 ～ ・ 議会だより（5 月予定） ・ ホームページ ・ 動画配信 ・ SNS 等
令和 9 年度	4 月	市議会議員選挙（新たな議員定数により実施）

【参 考】

令和 7 年 6 月～7 月に実施した各地域自治会連合会及び各地域分科会等への報告会では、天竜区の議員定数が削減された場合の影響を心配する意見が多く寄せられました。

そのため、市議会では、令和 8 年 1 月から新たに「天竜区特別委員会」を設置し、天竜区の実態に対応した市議会の取組及び天竜区民と議会をつなぐ仕組みを検討していくことを決定しました。